

# 2019年度 SSTA 西日本ブロック特別研修会 徳島大会 実施報告

1. 日時 8月3日(土) 4日(日) 5日(月)  
 2. 会場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)  
 ホテルサンシャイン徳島  
 3. 参加人数 講師 1名  
 SSTA 財団・本部 7名  
 支部長・事務局長 22名  
 研修員 62名  
 総計 93名



4. 講師 日本体育大学大学院 教育学研究科長 角屋 重樹 先生  
 5. 研修テーマ 児童が自己の変容を喜び、深い学びを実現する指導方法  
 - 領域における具体的な指導方法の提案 -

## 6. 研修について

### (1) 研修日程

8月3日(土)	8月4日(日)	8月5日(月)
13:00 受付(あわぎんホール)	7:30 朝食	7:30 朝食
13:30 開会行事	9:00 研修③	9:00 全体会②
14:00 愛媛支部報告	12:00 昼食	11:00 角屋先生指導講話
14:30 角屋先生ご講演	14:00 全体会①	12:00 閉会行事
16:00 事務連絡・写真撮影	17:00 各部会で夕食	12:30 事務連絡・解散
16:15 研修① 基調提案		
17:00 ホテルに移動		
18:00 懇親会	19:00 研修④	
21:00 研修② 事務局会議①	21:00 事務局会議②	
23:00 散会・就寝	23:00 散会・就寝	

### (2) 研修の具体

#### ① 徳島支部提案



#### ② 深い学びを実現する指導方法について4領域に分かれ研修を行う。

エネルギー	粒子	生命	地球
第5学年 電流がつくる磁力	第6学年 水溶液の性質	第5学年 動物の誕生 (卵の中の成長)	第4学年 雨水の行方と地面の様子

③各領域での研修結果

徳島支部提案

発表の様子・研修の成果

1.テーマ設定の理由 2.提案 3.研修内容

提案内容 子どもが 複線型の実験  
5年電磁石

### エネルギー領域

「電気」から「磁力」へ  
磁力って「コントロール」できるんだよ！！  
量的・関係的な視点で

自分の変容を喜ぶ



1.テーマ設定の理由 2.提案 3.研修内容

提案内容 子どもが複線型の実験と適切な分類  
6年水溶液

### 粒子領域

身の回りの水溶液を分類できるよ！

「なんで水溶液を学習するの」から  
「だから」水溶液を学習するのかへ  
質的・実体的な視点で

自分の変容を喜ぶ

この単元で見られる児童の変容

- ・ぼくの考えは、やっぱりよかったな。(自己肯定)
- ・〇〇さんの考え方もよかったな。あっちに変えようかな。(他者理解、取捨選択)
- ・〇〇さんがぼくの考えをほめてくれた。(自己有用感)
- ・〇〇さんのあの方法、まねしようかな。(取捨選択)
- ・ぼくの考え、ここがちょっと足りなかったな。(自己認識)
- ・説明することで自分の考えがすっきりしたよ。(自己認識)
- ・〇〇さんの考え方良かったな。でも、やっぱりぼくの考え方のほうがいい気がする。(他者理解、強い思い)
- ・今日は、ぼくの考えを友達聞いてわかってくれてうれしかった。(自己有用感)

1.テーマ設定の理由 2.提案 3.研修内容

提案内容 子どもが 適切な観察方法  
5年魚の成長

### 生命領域

昆虫や動物の命をつなげる  
「卵のひみつ」が見えたよ  
「ただの卵」から  
「命が育つ卵」へ  
共通性・多様性の視点で

自分の変容を喜ぶ



1.テーマ設定の理由 2.提案 3.研修内容

提案内容 子どもが 適切な観察方法  
4年 雨水の行方と地面の様子

### 地球部会

地面は平らじゃないんだ！  
高い所から低い所へ水は流れて集まるよ！  
土の粒の大きさで水の染み込み方がちがうよ！  
地面の中はどうなっているの？

「最小単位の流域」観察から  
「流域思考の土台づくり」へ  
時間的・空間的な視点で

自分の変容を喜ぶ

### 自己の変容を喜ぶ姿

ふりかえり

みんなが自分の予想を出して  
みんなが頑張ったことでどんないいことがあった？

友達と自分の予想の  
微妙な違いに気づいた  
から予想を見直せた

友達の実験があったから  
自信をもって結論を出せた

予想は違っていたけど  
自分の実験が  
みんなの役に立った

友達のおかげで  
自分が考えていなかった  
考えに変わることができた